

【基本方針】

「多様なプログラムで、満足感のあるサービスの提供をする」

【年間目標】

- ① 感染症対策を徹底し、災害発生時にも事業運営を継続できる体制を作る
- ② ヒヤリハットの積み重ねにより事故の予見を行い、事故数の低減を目指す
- ③ 個々のニーズにあうプログラムを実施し、ご利用者の心身機能向上に努める
- ④ 稼働 77.0%以上を目指す
- ⑤ 職員の介護福祉士取得を推奨すると共に勉強会を実施し職員の介護力をつける

【実践報告】

- ① 感染症対策を徹底し、災害発生時にも事業運営を継続できる体制を作る
 - ・日頃から利用者をよく観察し、体調不良の兆しがあれば速やかに対処することで感染症の蔓延を予防できた
 - ・整理整頓を心掛け、有事の際は利用者が速やかに避難できる導線、環境を維持した
- ② ヒヤリハットの積み重ねにより事故の予見を行い、事故数の低減を目指す
 - ・事故は情報共有ツールを用い、事故内容、検証結果を職員と共有、改善できるように努めた。また会議内では改善後の変化や再発防止について話し合いを行い、同様の事故を起こさなかった
 - ・ヒヤリハットの意義を理解し、日常の些細な「ヒヤッ」を職員同士共有し、環境改善等に取り組むことができた
- ③ 個々のニーズにあうプログラムを実施し、ご利用者の心身機能向上に努める
 - ・昭和遊びなどの懐かしいあそびを通した利用者間の交流が活発になり、活気のある時間を過ごしていただくことができた。
 - ・高齢者がわかりやすい映像による機能訓練やコグニサイズを実施し、誰もが取り組みやすい環境を整えた
- ④ 稼働率 77.0%以上を目指す
 - ・ご利用者に関する情報があれば、デイ以外のことでもケアマネジャーに情報共有し良好な関係づくりに努めた
 - ・当デイについて一目でわかるチラシを作成し、月2回FAXで営業を行い、新規居宅事業所を開拓することができた
 - ・稼働率 70.5%と目標稼働率には至ることができなかったが、職員の力量などを見極めながら年間41名の新規利用者を獲得し、無理のない運営をおこなった
- ⑤ 職員の介護福祉士取得を推奨すると共に勉強会を実施し職員の介護力をつける
 - ・日々の業務の中で各利用者にあった介助方法を職員間で共有し、どの職員も適切な介助方法を身に付けられるよう取り組んだ
 - ・新たに介護福祉士資格を取得できた職員はいなかったが、次年度以降も継続して介護福祉士資格取得を推進する

【苦情件数】

0件